

# 目 次

I. 和歌山大学南紀熊野サテライトについて	1
1. 南紀熊野サテライトの紹介	1
2. 2つの受講制度	2
II. 大学院科目等履修生の募集	4
1. 出願および履修願の手続き	4
2. 出願書類等	
㊦南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書	6
㊧履歴書	7
㊨令和5年度後期検定料の納入について	8
III. 学部開放授業受講者の募集	9
1. 聴講申請の手続き	9
2. 申請書類等	
㊩学部開放授業受講者聴講申請書(新規聴講生用)	11
㊪学部開放授業聴講申請書(登録有効期間中の聴講生用)	12
㊫令和5年度後期学部開放授業の聴講料の納入について	13
㊬学部開放授業申請書類受付通知はがき	
IV. 令和5年度後期 南紀熊野サテライト開講授業	14
1. 大学院授業科目	14
2. 学部授業科目	16

# I. 和歌山大学南紀熊野サテライトについて

## 1. 南紀熊野サテライトの紹介

- 和歌山大学南紀熊野サテライトは、大学の研究・教育機能を活用して地域づくりに貢献する「大学の地域ステーション」をめざしています。
- 地域社会と共に育ちあう、創造的な教育、研究、社会連携活動を行います。

和歌山大学南紀熊野サテライトは、地域の現実に対峙し、4つの視点から地域社会と共に育つ、創造的な教育・研究、社会連携活動をめざします。

1. 地域の知の拠点として
2. 大学の知的財産は地域資源
3. 地域・産・学・官みなが共に成長する仕組みづくり
4. 地域知の可能性を引き出す

和歌山大学は和歌山県との連携にもとづき、平成17年4月、県立情報交流センターBig・uに南紀熊野サテライト(設置当時は紀南サテライト)を開設しました。

南紀熊野サテライトは全国の地域型サテライトのさきがけであり、下記の事業を行っています。

1. 地域住民の多様な教育ニーズに対応した特色ある高等教育の実施
2. 地域研究の推進および地域の課題をふまえた生涯学習の機会提供
3. 地域自治体、企業等と連携した地域活性化に資する事業の実施
4. 高校を含めた地域に対する大学情報の発信

### 地域課題に沿った科目を開講



大学院科目の様子



機材を使った演習の様子



学部開放科目の様子



「南紀熊野の自然」現地実習の様子

## 2. 2つの受講制度

和歌山大学には、社会人等を対象とする「大学院科目等履修制度」と「学部開放授業受講制度」（※高校生は「高校生を対象とした大学授業の公開制度」）があり、それらを南紀熊野サテライトで利用できます。

令和5年度後期に南紀熊野サテライトで受講できる制度の概要は以下のとおりです。

	大学院科目等履修制度	学部開放授業受講制度
区 分	大学院科目等履修生	学部開放授業受講者
資 格	大学を卒業した者又は学校教育法施行規則第155条の規定により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者	18歳以上 ※和歌山県内の高校に在学の高校生は「高校生を対象とした大学授業の公開制度」で聴講が可能です。
選 考	願書および履歴書等による選考	なし（年齢確認のみ）
成績評価	あり	なし
単位認定	あり（成績評価「合格」の者）	なし
費 用	検定料 5,000円 入学料 10,000円 授業料 14,400円（1単位につき） ※令和4年度より「履修できる期間」の制度廃止に伴い、履修期間（1学期又は1年）毎に検定料と入学料及び授業料を徴収します。	聴講料 11,000円（1科目） ※令和4年度より登録料の制度が廃止されました。ただし経過措置として、登録期間の有効期限が2023年10月1日以降の開放授業生については、有効期限までは聴講料は、10,000円（1科目）となります。
経済学研究科修士課程への進学	【詳しくは経済学研究科修士課程学生募集要項をご覧ください。】 科目等履修生として修得した単位は、入学後に修得した単位として18単位まで認められる場合があります。	

### 大学院科目等履修制度とは

#### 【概要】

- 大学院の授業を原則、土曜日の日中を中心に、Big・u(田辺市)で開講します。  
フィールドワーク(現地調査)を行う授業もあります。保険料や交通費等は各自の負担となります。
- 入学資格は、大学を卒業した者又は学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、書類審査等による選考があります。
- 科目等履修生として入学し、受講後に合格判定を受ければ、所定の単位を取得できます。
- 本学(栄谷キャンパス)および岸和田サテライトで開講される大学院授業についても、科目等履修生として受講することができます。

- 1学期毎(通年科目は1年毎)に履修申請が必要です。
- 令和4年度前期より履修できる期間の制度(履修期間)が廃止され申請制度が変更されました。

#### 【履修可能期間】

- 初回の受講時に検定料と入学金を納入すると、「履修できる期間」として入学から2年間は、その後に受講しても検定料と入学金を免除してきましたが、令和4年度前期より「履修できる期間」の制度を廃止しました。

#### 【和歌山大学大学院経済学研究科修士課程への進学】

令和3年度から経済学研究科改組に伴い、プログラム制となっています。経済学研究科に進学希望の方は、出願前に修了要件等について5ページの問い合わせ先までご照会ください。

##### ○既修得単位認定制度

南紀熊野サテライトの科目等履修生が本学大学院経済学研究科に入学した場合、本サテライトでの取得単位を含め、入学前に本学および岸和田サテライトの大学院科目等履修生として修得した単位は、18単位を上限として認められることがあります。

##### ○社会人短期履修制度

本研究科修士課程社会人特別選抜の出願資格を満たし、本研究科科目等履修生として6単位以上を修得していれば、通常は修了に2年かかる修士課程を、最短1年で修了することもできます。

※改組に伴い令和3年度以降は、「南紀熊野サテライトコース」を利用することはできなくなりました。

### 学部開放授業受講制度とは

#### 【概要】

- 学部開放授業(連携展開科目)を土曜日の日中を中心にBig・u(田辺市)他で開講します。18歳以上(高校生は2ページをご覧ください。)であれば受講者として登録できます。試験等による成績評価や単位認定もないため、関心のある授業を気軽に受講していただけます。
- 令和4年度より、申請制度が変更されました。(登録料制度の廃止)

#### 【受講可能期間】

- 初回聴講からの4年間で「登録期間」として以降の登録料を免除してきましたが、令和4年度より登録料を免除する制度を廃止しました。  
ただし経過措置として、登録期間の有効期限が2023年10月1日以降の開放授業生については、有効期限までは今までどおりとします。この場合、1科目あたりの聴講料は10,000円となります。

## II. 大学院科目等履修生の募集

### 1. 出願および履修願の手続き

#### 募集科目

科目名、授業内容、開講日時等については、14ページ以降をご参照ください。

※この募集要項に掲載のシラバスは後日変更となる可能性があります。正式なシラバスは和歌山大学のホームページから確認してください。

※令和5年度後期の授業は、対面授業を行います。修士課程の学生は、オンラインで受講する場合があります。本学の授業実施状況に準じて遠隔授業(オンライン)に切り替えることもあります。切り替わった際に必要な受信端末やネット環境は、各自で準備してください。(授業内容を録画することもあります。)

#### 募集人数

各科目とも、若干名

#### 出願期間・出願方法

令和5年8月21日(月)～8月25日(金)(必着)

出願書類等を学務課学部等支援室経済学部係宛に郵送してください。その際、封筒の表に「南紀熊野サテライト大学院科目等履修生出願書類在中」と朱書きし、「特定記録」で送付(期限必着)してください。

#### 【新規に出願される方】

##### ○入学資格

①大学を卒業した者

②学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

※入学資格について不明な点がある方は、検定料振込前に学務課学部等支援室経済学部係にお問い合わせください。振込後の返金はいたしかねます。

※入学資格②による志願者は、事前に審査を行いますので、出願開始1ヵ月前までに経済学部係に申し出をしてください。

##### ○検定料

5,000円

##### ○出願書類

「南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書」(用紙㉗)

振込依頼書(用紙㉘)を利用して最寄りの銀行等にて検定料を振込み、振込依頼書のC票「振込金受付証明書」を願書の所定の位置に貼付してください。

「履歴書」(用紙㉙)

大学等の卒業(修了)証明書(卒業・修了見込の方は見込証明書)

証明書を卒業大学等から取り寄せ、履歴書に添付してください。

改姓・改名の場合は、戸籍抄本等それが分かる書類を添付してください。

返信用封筒(結果通知用)

角型2号封筒(100g以内)に出願者の郵便番号・住所・氏名を記入し、簡易書留で返送できるよう必要な額の切手を貼ってください。

※提出する書類は、すべて原本とし、コピーは認めません。

### 【現在科目等履修生である方または、過去に科目等履修生であった方】

現在、科目等履修生である方または、過去に科目等履修生であった方が出願される場合は、新規出願者の扱いとなります。上記の【新規に出願される方】と同様の手続きをお取りください。(注1)

注1：卒業(修了)証明書の原本は、過去に提出されている場合は、その証明書のコピーあるいは過去に発行された科目等履修生履修可能期限証(カード)または、利用等履修生証(カード)のコピーでもかまいません。

### 選考および結果通知

提出された願書および履歴書等で審査を行います。選考結果は、9月13日(木)までに返信用封筒にて郵送します。届いていない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。合格者には入学書類を同封します。

### 入学手続き期間・手続方法

令和5年9月14日(木)～9月15日(金)(必着)

書類を学務課学部等支援室経済学部係まで郵送(期限必着)してください。詳細は入学書類に記載します。

### 入学料および授業料

入学料 10,000円

授業料 14,400円(1単位につき)

詳細は、入学書類に記載します。

※所定の期日までに授業料が納付されなかった場合は除籍となります。(入学後のキャンセルについては入学書類を確認してください。)

### その他

- ・出願後、授業科目の開講日時・場所・担当教員等に変更等が生じる場合がありますので留意してください。なお、これらの変更により受講が困難になった場合は、問い合わせ先までご相談ください。
- ・科目等履修生は通学定期の購入及び学割の利用はできません。
- ・障害を有する志願者で履修上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に問い合わせ先までご相談ください。

### 出願先・問い合わせ先

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 学務課学部等支援室経済学部係	〒640-8510 和歌山市栄谷930	073-457-7805 ecogakumu@ml.wakayama-u.ac.jp



## 南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書

和歌山大学長 殿

氏名(署名) \_\_\_\_\_

下記の科目を科目等履修生として履修したいので、入学を許可願います。

記

### 履修希望科目

希望科目	科 目 名	単位数
<input type="checkbox"/>	協同組合論	1
<input type="checkbox"/>	農工商連携・六次産業化	1

( : 該当するものに「レ」を記入してください。)

履修期間の開始 令和5年10月1日

履修科目数	科目
-------	----

履修総単位数	単位
--------	----

5,000円

新規科目等履修生  
振込金受付証明書  
貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊟)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。



## 履 歴 書

ふりがな 氏 名		男 ・ 女	写 真 欄 (3×4 cm)
生年月日	昭和 平成 (西暦	年	月
		日	生
現住所	(〒 - )		
	TEL.( ) -		
日中の連絡先 (勤務先・携帯電話等)	(〒 - )		
	TEL.( ) -		
	E-mail.		
最終学歴 卒業証明書添付要		入 学	
			年 月
		卒 業	
	( 年制)		年 月
勤 務 先 (在職者のみ)			年 月～

# 令和5年度後期検定料の納入について（南紀熊野サテライト大学院科目等履修生用）

① 出願資格について確認を必要とする方は、学務課学部等支援室経済学部係(073-457-7805)へ確認後振込むようにしてください。  
(出願資格の欠格が多々見受けられますので、特に注意してください。)

② この振込依頼書に必要事項を記入のうえ、「電信扱」が利用できる金融機関窓口から振込んでください。

※ ゆうちょ銀行からは振込みできません。

※ A T M (現金自動預払機)、携帯電話、パソコン等からは振込まないでください。

※ 振込手数料は、依頼人負担となります。

③ 「振込金受付証明書(C票)」と「振込金領収書(B票)」は、金融機関の取納印があることを確認のうえ、受け取ってください。

④ 「振込金受付証明書(C票)」は、願書の所定欄に貼付してください。

⑤ 「振込金領収書(B票)」は本人の控えとして、大切に保管してください。

## 〈振込依頼書等記入要領〉

①  太線の枠内は必ず記入してください。

② 志願者氏名は、必ず志願者本人の「氏名、フリガナ」を記入してください。



切り取って、金融機関にお出しください。

### C 票 振込金受付証明書

令和5年度後期入学検定料  
(願書所定欄貼付用)

依頼日	令和	年	月	日
金額	5,000	円		
振込先銀行	紀陽銀行			
	紀の川支店			
受取人	和歌山大学			
フリガナ				
志願者氏名				

取納印のない場合は、無効となります。

取納印
-----

(ご依頼人→大学)

### B 票 振込金領収書(本人保存)

令和5年度後期入学検定料

依頼日	令和	年	月	日
金額	5,000	円		
振込先銀行	紀陽銀行			
	紀の川支店			
受取人	普通預金	0766935		
	和歌山大学			
フリガナ				
志願者氏名				
振込手数料				円

取納印
-----

(取扱店→ご依頼人)

切り離しのうえ願書の所定欄に貼付して提出してください。

### A 票 振込依頼書

令和5年度後期入学検定料

依頼日	令和	年	月	日
振込先銀行	紀陽銀行			
	紀の川支店	(普)		
口座名	ワカヤマダイガク			
	和歌山大学			
整理番号	5	6	1	
フリガナ				
志願者氏名				
住所				
振込指定	0766935			
金額	5,000	円		
内訳	現金			
手数料	5,000	円		
依頼人負担				

\* 金融機関へのお問い合わせ

1. 整理番号、志願者氏名(フリガナ)は必ず打電してください。
2. B票・C票は、押印のうえ、必ず依頼人へお返しください。

取納印
-----

(取扱店保存)

### III. 学部開放授業受講者の募集

#### 1. 聴講申請の手続き

##### 聴講資格

18歳以上(高校生は除く)であれば、どなたでも可能です。(受講申請に際しての審査や単位はありません。)

※高校生は2ページをご覧ください。

##### 募集科目および募集人数・会場

※この募集要項に掲載のシラバスは後日変更となる可能性があります。正式なシラバスは和歌山大学のホームページから確認してください。

※令和5年度後期の授業は、一部の科目を除き、対面授業を行います。本学の授業実施状況に準じて遠隔授業(オンライン)に切り替えることもあります。切り替わった際に必要な受信端末やネット環境は、各自で準備してください。

※授業によっては、授業内容を録画することがありますので、ご了承ください。

「地域観光戦略論A」

(30名程度)……田辺市会場

「きのくに文学」名作案内」 講師はオンラインで登壇します。

(30名程度)……田辺市会場

「郷土の食文化から考える食の危機」

(30名程度)……田辺市会場

※お問い合わせは、会場ではなく次頁の和歌山大学南紀熊野サテライト迄お願いします。

##### 申請期間・方法

令和5年8月17日(木)～9月12日(火)(必着)

以下「必要となる書類等」を参考に、申請書類を和歌山大学南紀熊野サテライト宛に郵送してください。

その際、封筒の表に「学部開放授業書類在中」と朱書きし、「特定記録」で送付してください。

※持参による申請は、不在の場合がありますので事前に事務室にご連絡ください。

※必ず上記申請期間内に手続き(振込み等)してください。

(申請期間より前(8月17日より前)の申請(振込み等)は、正しく登録されないことがあります。)

(注)学部開放授業の開講日は、重複する日程がありますので、複数科目を受講される場合は、ご注意ください。

## 必要となる書類等

1. はじめて聴講申請される方 2. 登録の有効期限が2023年9月30日以前の方	2023年10月1日現在、登録有効期間中の方
<input type="checkbox"/> 学部開放授業受講者聴講申請書 (用紙㊸)	<input type="checkbox"/> 学部開放授業聴講申請書<開放授業登録済者用> (用紙㊹)
<input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聴講料 { 11,000円 (1科目の場合)</li> <li>          { 22,000円 (2科目の場合)</li> <li>          { 33,000円 (3科目の場合)</li> </ul> <p>→最寄りの銀行等にて振込依頼書(用紙㊺)により合計額を振込んだうえ、「C票振込金受付証明書」を用紙㊸の所定の位置に貼付してください。</p>	<input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聴講料 { 10,000円 (1科目の場合)</li> <li>          { 20,000円 (2科目の場合)</li> <li>          { 30,000円 (3科目の場合)</li> </ul> <p>→最寄りの銀行等にて振込依頼書(用紙㊺)により合計額を振込んだうえ、「C票振込金受付証明書」を用紙㊹の所定の位置に貼付してください。</p>
<input type="checkbox"/> 申請書類受付通知はがき㊻ 郵便番号、住所、氏名を記入し郵送分の切手を貼付して、申請書類とともに必ず同封してください。切手のないものは送付しません。 ※持参による申請の場合は、はがきは不要です。	<input type="checkbox"/> 申請書類受付通知はがき㊼ 郵便番号、住所、氏名を記入し郵送分の切手を貼付して、申請書類とともに必ず同封してください。切手のないものは送付しません。 ※持参による申請の場合は、はがきは不要です。

※受講登録後の払戻しはできません。

高校生を対象とした大学授業の公開制度(P.2)による高校生の受講料は別途設定されております。

和歌山大学ホームページよりご確認ください。

※改定があった場合は、改定後の金額とします。

※フィールドワークに伴う保険料、交通費等諸費用は各自のご負担となります。

## 申請書類受付通知

申請書類受理後、お送りいただきました受付通知はがきを送付します。募集期間終了日(9月12日)から3～4日過ぎても受理通知はがきが届かない場合は、下記窓口へお問い合わせください。

## 受講通知

授業開始日の10日前頃までに、授業案内(教室等お知らせ)を送付します。

## 登録および申請先・問い合わせ先

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 南紀熊野サテライト	〒646-0011 田辺市新庄町3353-9-102 和歌山県立情報交流センターBig・u内	0739-23-3977 (fax 0739-23-3978) nankuma@ml.wakayama-u.ac.jp

※開室時間 10:00～17:00 (日曜・月曜・祝日休み)

なんらかの支援または情報保障が必要な方は、8月4日(金)までにご連絡ください。

学部開放授業受講者聴講申請書

和歌山大学長 殿

写真欄  
(3 × 4 cm)

最近3ヶ月以内に  
撮影の上半身正面  
脱帽とする

申請者

フリガナ  
氏名(署名) \_\_\_\_\_  
生年月日(西暦) \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日(男・女)  
現住所(〒 \_\_\_\_\_ )  
\_\_\_\_\_   
電話番号( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_ 職業 \_\_\_\_\_  
携帯電話番号 \_\_\_\_\_  
E-mail \_\_\_\_\_

保護者(※申請者が未成年の場合に必要な)

氏名(署名) \_\_\_\_\_  
申請者との続柄( \_\_\_\_\_ )

※楷書で丁寧に自書すること。  
※氏名の漢字は、登録者証に使用できる漢字以外については代替の文字(カタカナを含む)となります。

下記の開放授業の聴講を希望しますので、申請します。

記

希望科目	聴講希望科目名
<input type="checkbox"/>	地域観光戦略論A
<input type="checkbox"/>	「きのくに文学」名作案内
<input type="checkbox"/>	郷土の食文化から考える食の危機

※開講日が重複する日程がありますので、複数科目を受講される場合はご注意ください。

以下、大学記入欄

学生番号: \_\_\_\_\_  
発行年月日: 20 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
有効期限: 20 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

1科目 11,000円  
2科目 22,000円  
3科目 33,000円

新規聴講者  
振込金受付証明書  
貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊦)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

※ATM又はネットバンキングで振込まれた方は、下の□に✓を記入して下さい。

- ATMにて振込
- ネットバンキングにて振込

### 学部開放授業聴講申請書 (開放授業登録済者用)

和歌山大学長 殿

#### 申請者

学生番号 \_\_\_\_\_

氏名(署名) \_\_\_\_\_

生年月日(西暦) \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 (男・女)

現住所(〒 \_\_\_\_\_ )  
\_\_\_\_\_

電話番号( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_ 職業 \_\_\_\_\_

携帯電話番号 \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_

#### 保護者 (※申請者が未成年の場合に必要)

氏名(署名) \_\_\_\_\_

申請者との続柄 ( \_\_\_\_\_ )

下記の開放授業の聴講を希望しますので、申請します。

#### 記

希望科目	聴講希望科目名
<input type="checkbox"/>	地域観光戦略論 A
<input type="checkbox"/>	「きのくに文学」名作案内
<input type="checkbox"/>	郷土の食文化から考える食の危機

※開講日が重複する日程がありますので、複数科目を受講される場合はご注意ください。

有効期限(西暦) 20 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

(学部開放授業登録者証を参照ください。)

「学部開放授業登録者証」のコピー貼付欄

1 科目 10,000円  
 2 科目 20,000円  
 3 科目 30,000円

登録期間中の聴講者  
 振込金受付証明書  
 貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊦)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

※ATM又はネットバンキングで振込まれた方は、下の□に✓を記入して下さい。

- ATMにて振込
- ネットバンキングにて振込

# 令和5年度後期学部開放授業の聴講料の納入について（南紀熊野サテライト用）

費用は、新規受講申請者(用紙④)での申請)は聴講料11,000円(1科目につき)となります。  
更新受講申請者(用紙⑤)での申請)は聴講料10,000円(1科目につき)となります。

①この振込依頼書に必要な事項を記入のうえ、「電信扱」が利用できる金融機関の窓口から振込んでください。

※ゆうちょ銀行からは振込みできません。

※ATM(現金自動預払機)・ネットバンキングでも振込み可能ですが、その際は下記の振込依頼書に記載の銀行口座に、振込依頼人欄には整理番号「69」と氏名を記入の上(例 69 ワダイ タロウ)、金額に過不足のないようお願いください。

※振込手数料は、依頼人負担となります。

②「振込金受付証明書(C票)」は、申請書の所定欄に貼付してください。

③「振込金領収書(B票)」は本人の控えとして、大切に保管してください。

## 〈振込依頼書等記入要領〉

- ①  太線の枠内は必ず記入してください。
- ② A票・B票・C票の金額欄は、聴講料の合計を記入してください。
- ③ 受講者氏名は、必ず受講生本人の「氏名、フリガナ」を記入してください。

切り取って、金融機関にお出しください。

### C 票 振込金受付証明書

令和5年度後期聴講料  
(申請書所定欄貼付用)

依頼日	令和	年	月	日
金額	円			
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店			
受取人	和歌山大学			
フリガナ				
受講者氏名				

収納印のない場合は、無効となります。

収 納 印
-------------

(ご依頼人→大学)

### B 票 振込金領収書(本人保存)

令和5年度後期聴講料

依頼日	令和	年	月	日	
金額	円				
振込先銀行	紀陽銀行紀の川支店				
受取人	普通預金	0766935			
フリガナ	和歌山大学				
受講者氏名					
				振込手数料	円

収 納 印
-------------

(取扱店→ご依頼人)

### A 票 振込依頼書

令和5年度後期聴講料

依頼日	令和	年	月	日	振込指定
受取人	紀陽銀行	紀の川支店	(普)	0766935	金額
口座名	ワカヤマダイガク 和歌山大学				現金
整理番号	69				印
フリガナ					訊
受講者氏名					
住所					

収 納 印
-------------

(取扱店保存)

\*金融機関へお願い

- 1. 整理番号、受講生氏名(フリガナ)は必ず打電してください。
- 2. B票・C票は、押印のうえ、必ず依頼人へお返しください。

金融機関で切り離してください。

電信扱

手数料ご依頼人負担


## IV. 令和5年度後期 南紀熊野サテライト開講授業

### 1. 大学院授業科目

授業科目名 (英文表記)	協同組合論 (Cooperative Association Study)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	岸上 光克		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 12月16日(土) 13:00~17:00	第3回 1月20日(土) 13:00~17:00	
	第2回 12月23日(土) 13:00~17:00		
<p><b>【授業のねらい・概要】</b>          地域間格差や生活格差が拡大しているといわれる状況のもと、利益追求型の企業経営ではなく、協同組合という形態が目ざされつつある。協同組合は、一般の会社組織とは異なる目的や仕組みを持った特色ある組織であり、食料、農業、農村を取り巻く環境の中で、大きな役割を果たしてきた。一方で、協同組合に対する理解は必ずしも高いとはいえない。本講義では、協同組合とは何か？、協同組合の課題は何か？などを具体的事例から学び、協同組合について、主体的に考える力を身に付けることを目的とする。今回は農協に注目する。</p> <p><b>【授業計画】</b>  <b>第1回① オリエンテーション、協同組合とは何か。</b>          幅広い協同組合の定義を理解するとともに、その理解に求められる知識や視点を確認          [予習] 協同組合(特に農協)に関する情報収集を行うこと          [復習] 今後、協同組合(特に農協)がどのようになるか将来を予測すること  <b>第1回② 協同組合の基礎理論</b>          歴史や法人形態の特徴について把握するとともに、ディスカッションを実施          [予習] 協同組合について事前に調べておくこと          [復習] 授業で習った以外の内容について確認すること  <b>第2回① 農協の過去・現在・未来</b>          農協の展開と現状について把握するとともに、ディスカッションを実施          [予習] 農協について事前に調べておくこと          [復習] 授業で習った以外の内容について確認すること  <b>第2回② 地域農業の持続的発展と営農経済事業</b>          地域農業の持続的発展と営農経済事業を把握するとともに、ディスカッションを実施          [予習] 農協の営農経済事業について事前に調べておくこと          [復習] 授業で習った以外の内容について確認すること  <b>第3回① 農協における販売事業の展開と特徴</b>          農協における販売事業の展開と特徴を把握するとともに、ディスカッションを実施          [予習] 農協の販売事業(共販・直売所)について事前に調べておくこと          [復習] 授業で習った以外の内容について確認すること  <b>第3回② まとめ、最終課題の作成と提出</b>          これまでの講義内容を踏まえ、これからの協同組合について検討          [予習] これまでの授業の内容を整理すること          [復習] 最終課題を完成させ、提出すること</p> <p><b>【到達目標】</b>          ①協同組合(特に農協)の基本的枠組を理解し、説明できる。          ②協同組合(特に農協)を取り巻く社会経済的環境の変化を理解し、説明できる。          ③協同組合(特に農協)の基盤となる農業の産業としての特性を理解し、説明できる。          ④協同組合(特に農協)の社会経済的特性に基づく持続的発展可能性について理解し、説明できる。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b>          各回の講義で行った課題の提出(50点)および最終課題の提出(50点)により評価します。</p> <p><b>【教科書】</b>          特に指定しません。必要に応じて、資料やファイル(データ)を配布します。</p> <p><b>【参考書・参考文献】</b>          ・JA全中編「農業協同組合論 第4版」JA全中(2022)          ・農林中金総合研究所「地域農業の持続的発展とJA営農経済事業」全国共同出版(2020)          この他、授業中に適宜紹介する。</p> <p><b>【履修上の注意・メッセージ】</b>          授業時に提示された予習課題に自主的に取り組んでください。それを踏まえて、授業で議論をします。          受講生の理解度を見ながら、授業の進度やトピックの一部を調整することがあります(そのつど説明します)。授業内容や個人差によって変わりますが、予習に1時間、復習に1時間程度の学習を計画してください。</p> <p><b>【履修をする上で必要な事項】</b>          特になし</p> <p><b>【授業時間外学習についての指示】</b>          授業時間外学習(予習・復習)については授業計画を参照のこと。          ※基本的には対面での実施を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインによる遠隔授業を行う場合又は授業を中止する場合があります。オンラインによる授業を行う場合に必要なパソコン、ネット環境は、各自で準備してください。</p>			



授業科目名 (英文表記)	農工商連携・六次産業化 (Agricultural Diversification and Collaboration of Industries)		
単位数	1	授業形態	講義
担当教員	藤田 和史		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 10月14日(土) 13:00~17:00	第3回 11月25日(土) 13:00~17:00	
	第2回 10月28日(土) 13:00~17:00		

#### 【授業のねらい・概要】

この授業では、農業生産者と他産業とが結び着くことで高付加価値化を目指す六次産業化などの事例を分析することを通じて、地域農林水産業の存続のありようについて検討することを目指します。また、風土産業などの古典論を解説しながら、地域に適した農林水産業および関連産業のあり方についても考察します。

#### 【授業計画】

##### 第1回① 六次産業化と農工商連携1

六次産業化、農工商連携の基本的な概念について解説します。

##### 第1回② 六次産業化と農工商連携2・3

荒木・林編を輪読し、農林水産業と六次産業化についてどのように把握するかを考えます。

##### 第2回① 古典としての風土産業1

三澤の風土産業について、基本的な考え方とその時代背景を考えます。

##### 第2回② 古典としての風土産業2・3

三澤文献を輪読し、風土産業の具体的な内容、理論的支柱を考察します。

##### 第3回 六次産業化・農工商連携と風土産業

ここまでの授業内容をふまえ、六次産業化や農工商連携の進め方と風土産業の関わりについて議論します。

まとめ、レポート指示

#### 【到達目標】

履修することで、次のことができることが目標です。

1. 六次産業化、農工商連携など、近年の農林水産業を巡る諸概念について説明できる。
2. 六次産業化、農工商連携の具体的な事例を解説できる。
3. 地域に適した六次産業化および農工商連携について説明できる。

#### 【成績評価の方法】

授業への参加度合い(50%)とレポート(50%)により評価します。

#### 【教科書】

下記を予定しています。また、適宜資料を配付します。

荒木一視・林紀代美編 2019.『食と農のフィールドワーク入門』昭和堂.

三澤勝衛 2008.『三澤勝衛著作集 風土の発見と創造 第3巻 風土産業』農山漁村文化協会.

#### 【参考書・参考文献】

授業中に適宜紹介します。

#### 【履修上の注意・メッセージ】

積極的な参加を期待します。

#### 【履修をする上で必要な事項】

南紀熊野サテライトで受講される方は対面で、それ以外の地域から参加される方は同時配信で授業を行います。受信するためにネットワーク環境(Wi-fi環境)をご準備ください。また、パソコンとTeams、そして念のためにZoomクライアントをご準備ください。さらに質疑応答する場合には、ハウリングが生じないようにイヤホンをご準備ください。

#### 【授業時間外学修についての指示】

配布した文献資料等の精読を求めます。旧仮名遣い、文語調の文章もありますので、相応の時間がかかるものと考えてください。

## 2. 学部授業科目

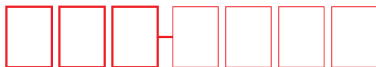
授業科目名 (英文表記)	地域観光戦略論 A (Regional Tourism Strategies A)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義・演習
担当教員	藤田 和史・岸上 光克・吉村 旭輝・佐久間 康富・木川 剛志		
開講	南紀熊野サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回 10月7日(土) 13:00~17:00	第4回 12月16日(土) 13:00~17:00	
	第2回 10月21日(土) 13:00~17:00	第5回 12月23日(土) 13:00~17:00	
	第3回 11月4日(土) 13:00~17:00	第6回 1月6日(土) 13:00~17:00	
<b>【授業の概要・ねらい】</b>			
<p>観光は、「国の光を観る」という語源から、土地の風物・名所を観る行動と考えられてきました。しかし、現在の観光という行動は、語源の意義を含みつつも変化しています。自らの目的意識に基づく観光、風物・名所を観るとともにその背後にある「物語」をも楽しむ観光まで、新たな観光として深化・多様化しています。そして、現在の観光の大きな特徴は、個人の観光行動が広く発信され、それが多数に共有され、新たな観光を誘発するという点です。この授業では、上記のような観光の新たな側面を学びつつ、その知見をどのように生かすのかという点に重きを置いて、観光戦略の計画・立案・発信まで含めた授業を展開します。</p>			
<b>【授業計画】…担当者・ゲストの都合により、順番が前後することがあります。予定はWebシラバスでご確認ください。</b>			
第1回 ガイダンス、【地域ブランド】農商工連携と地域経済循環 (岸上)			
第2回 【歴史・文化】祭礼と祭りの「保存」と「活用」ー都市祭礼と農漁村祭祀の現在ー (吉村)			
第3回 【都市整備】まちづくり構想とリノベーションまちづくりの展開 (佐久間、ゲストスピーカー：調整中)			
第4回 【マイクロツーリズム】ご近所観光の楽しみ方 (藤田、ゲストスピーカー：調整中)			
第5回 【観光情報発信】地域からの観光映像とデジタルマーケティング (木川)			
第6回 【まとめ】地域観光戦略を展望する (全教員)			
<b>【到達目標】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな観光の特徴について理解し、他者に説明できる。</li> <li>・得た知識を踏まえて、自らが暮らす地域の観光についてプランを構築し、情報を発信できる。</li> </ul>			
<b>【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】</b>			
担当者ごとに提示する課題(50%)、およびワークショップの内容をベースにしたレポート(50%)で評価します。			
<b>【教科書】</b>			
特に定めません。適宜資料を配付します。			
<b>【参考書・参考文献】</b>			
授業中に適宜紹介します。			
<b>【履修上の注意・メッセージ】</b>			
授業は南紀熊野サテライトで実施します(教室は現地でご案内します)。また、グループワーク・ワークショップを含む授業です。			
<b>【履修する上で必要な事項】</b>			
学生さんはBYODのPCを使用しますので、持参してください。社会人の方でPC・タブレットをお持ちの方は、ご自身のものをご持参ください。			
<b>【授業時間外学修についての指示】</b>			
指示・配付された資料の精読、および授業で提示された課題に取り組んでもらいます。			
<b>【授業理解を深める方法】</b>			
本学「アクティブ・ラーニング」実施要項の以下の項目に該当します。			
⑧学生による発表をともなう学習 ⑩グループワークをともなう学習			

授業科目名 (英文表記)	「きのくに文学」名作案内 (Kinokuni-Literature : An Introduction to Japanese Philosophy)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義・演習
担当教員	天野 雅郎		
開 講	南紀熊野サテライト (田辺市)	区 分	学部開放科目
実施日・時間	第1回 10月14日(土) 13:00~17:00	第4回 12月2日(土) 13:00~17:00	
	第2回 10月28日(土) 13:00~17:00	第5回 12月9日(土) 13:00~17:00	
	第3回 11月11日(土) 13:00~17:00	第6回 1月20日(土) 13:00~17:00	
<b>【授業の概要・ねらい】</b>			
<p>文学という語が昨今のように、いたって狭い、限られた意味でしか用いられなくなってしまった時代を、これまで私たちは経験したことがありません。なにしろ、もともと文学とは読んで字のごとく、そのまま文(=文字+文章)を学ぶことを指し示し、まず学問の同義語として中国で生まれ、それが私たちの国にも伝わり、古代から中世へと受け継がれてきたからです。また、その文学が近代以降、英語(literature)の翻訳語に姿を変えてからも、その適応範囲は私たちの読み書き力(literacy)の全体に及ぶものであり、決して詩歌や小説を読んだり、書いたりすることに尽きるものではありませんでした。事実、例えば大学の文学部とは、はなはだ狭い、限られた文学を学ぶための場ではなく、そこには哲学や宗教や、歴史や芸術を始めとして、あらゆる人間性(humanity)を学ぶための場が、その名の通りの人文学(humanities)として設えられ、開かれています。その点、そもそも文学とは文化(culture=教養)と語義を等しくするものであり、その意味において、それは私たちの教養(Bildung=人格陶冶)の最たるものと言い換えても構わないでしょう。この授業では、そのような文学の原義にまで立ち返り、どれほど文学が私たちの生活や人生に対して重要な、決定的な影響力を有するものであるのかを、皆さんと共に振り返りたいと思います。そして、そのことを具体的に、現在の和歌山の前身である「きのくに」(木国→紀伊国)を舞台とする作品群や、そこに生まれ育ち、あるいは、この舞台と何らかの縁(ゆかり)のある作家たちを取り上げ、これらの作家や作品の読解を通じて、どれほど「きのくに」が大きな、豊かな文学圏(=文化圏)を歴史上、この和歌山において築き上げ、今に至るまで保ち続けているのかを、皆さんと共に再認識し、再確認するのが狙いです。</p>			
<b>【授業計画】</b>			
第1回：古代篇(Ⅰ)神話論			
第2回：古代篇(Ⅱ)和歌論			
第3回：中世篇(Ⅰ)宗教論			
第4回：中世篇(Ⅱ)芸能論			
第5回：近代篇(Ⅰ)詩歌論			
第6回：近代篇(Ⅱ)小説論			
<b>【到達目標】</b>			
和歌山が歴史上、どのような文学的風土を育み、それを今に至るまで、脈々と伝統として受け継いでいるのかを、その全体像において捉えることが目標です。			
<b>【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】</b>			
授業への参加度・発言等を踏まえて、最終的に期末レポートで評価をします。			
<b>【教科書】</b>			
教科書として、個別に使用するテキストはありません。			
<b>【参考書・参考文献】</b>			
適宜、授業中に紹介します。膨大な量に上り、この場では紹介し切れませんので、あしからず。			
<b>【履修上の注意・メッセージ】</b>			
オンライン授業ですので、日本全国、津々浦々からの受講が可能です。出来るだけ多くの皆さんの、ご参加を期待します。(授業は、南紀熊野サテライト(田辺市)で行います。講師は、田辺市に来ず外部からオンラインで授業を行います。)			
<b>【履修する上で必要な事項】</b>			
パソコンは各自で、ご準備ください。サテライトの教室内で、ご一緒に受講して頂いても構いません。			
<b>【授業時間外学修についての指示】</b>			
毎回の授業に際して、それぞれ事前と事後の学修が必要になります。			
<b>【授業理解を深める方法】</b>			
参考文献にも可能な限り、目を通して頂きますと幸いです。			

授業科目名 (英文表記)	郷土の食文化から考える食の危機 (Local Cuisine and Food Culture)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義・演習
担当教員	岸上 光克、鈴木 裕範 (非常勤)		
開講	南紀熊野サテライト (田辺市)	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回 10月7日(土) 13:00~17:00	第4回 11月4日(土) 13:00~17:00	
	第2回 10月14日(土) 13:00~17:00	第5回 1月27日(土) 13:00~17:00	
	第3回 10月21日(土) 13:00~17:00	第6回 2月10日(土) 13:00~17:00	
<b>【授業の概要・ねらい】</b>			
<p>ロシアのウクライナ侵攻がもたらしている世界的な「食糧危機」は、日本の「食」の多くを海外に依存する危うさを露呈させている。グローバル化、工業化の波は、食の画一化・均質化を招き、列島で育まれてきた食の地域性(個性・伝統)や旬を味わう季節感を希薄化させ、発酵や保存食など暮らしの知恵が生んだ地域資本である食文化の貧困化が進む。そして、ポストコロナの和食、郷土食はどうなる？</p> <p>本講義では、日本の食文化、とくに郷土の食をめぐる危機について和歌山県から明らかにし、豊かで多様な食文化が地域を、私たちの暮らしをつくっていることの幸福や重要性、これからの食の姿を考える。</p>			
<b>【授業計画】</b>			
第1回 オリエンテーション：世界的な食料の危機の実態と日本の食文化			
第2回 発酵食文化のふるさと紀州。なれずしから考える伝統食の未来			
第3回 「プラチナ」になった鯖。紀州の魚食文化(地魚料理と食文化調査)の現在			
第4回 コロナが焙り出す食の豊かさとは？イモ文化・米粉文化			
第5回 家庭の食の風景・「食とサステナビリティ」とは？			
第6回 まとめ：食のこれからを展望			
<b>【到達目標】</b>			
食の危機と食文化について、			
①基本的枠組を理解し、説明できる			
②社会経済的環境の変化を理解し、説明できる			
③社会経済的特性に基づく持続的発展可能性について理解し、説明できる			
<b>【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】</b>			
毎回の講義への参加状況(リアクションペーパーによる理解度の確認：50点)と講義期間中に実施する課題(50点)の合計で総合評価する。			
<b>【教科書】</b>			
特に定めない(各回に必要な資料を提供)。			
<b>【参考書・参考文献】</b>			
特に定めない(各回に必要な資料を提供)。			
<b>【履修上の注意・メッセージ】</b>			
授業は、南紀熊野サテライト(田辺市)で行います。			
<b>【履修する上で必要な事項】</b>			
食の危機や食文化に関わる新聞記事やニュース等について日常的に目を通す習慣をつけて欲しい。			
<b>【授業時間外学修についての指示】</b>			
本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行うこと。さらに、授業内容に関連する課題の調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求める。			
<b>【授業理解を深める方法】</b>			
食料危機や食文化については、多様な基礎知識とともに、現場感覚が必要となる。			
関係図書や資料を読む座学とともに、食文化形成の現場での情報収集の機会を持つ必要がある。			

# 郵便はがき

ここに  
63円切手を貼付  
してください。



住所	
氏名	様

⑦

※以下は大学側記載欄なので、記入しないで下さい。

## 令和5年度学部開放授業申請書類《後期》受付通知

- 【科目名】  地域観光戦略論 A  
 「きのくに文学」名作案内  
 郷土の食文化から考える食の危機

あなたの令和5年度後期和歌山大学南紀熊野サテライト学部開放授業の申請書類を受付いたしましたのでお知らせいたします。

なお、授業開始案内(教室等お知らせ)は、授業開始日の10日前頃迄に郵送します。

〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町3353-9-102

和歌山県立情報交流センターBig・u内

国立大学法人 和歌山大学南紀熊野サテライト

- 注) 1. 郵便番号、住所、氏名を記入し63円切手を貼り、申請書類を郵送時に同封してください。  
2. 63円切手の貼付けの無いものは送付できません。  
3. 申請用紙を窓口に持参する場合は、はがきの提出は不要です。

## 〈新型コロナウイルスへの対応〉

新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて、本募集要項の日程・内容等が変更される可能性があります。

詳しくは、和歌山大学南紀熊野サテライトホームページで確認してください。

## 〈気象警報発令時の授業の取扱い〉

授業会場の所在市町村(田辺市)に「暴風警報」または「大雨警報」が発令された場合は、発令期間中の授業は休止となります。

詳しくは、南紀熊野サテライトホームページを参照してください。

和歌山大学南紀熊野サテライトホームページ

<https://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/nanki-kumano/>

## 〈個人情報の取り扱い〉

本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人和歌山大学における個人情報の保護に関する規程」等に基づき、厳密に取り扱います。

※なんらかの支援または情報保障が必要な方は、8月4日(金)までに南紀熊野サテライトまでご連絡ください。